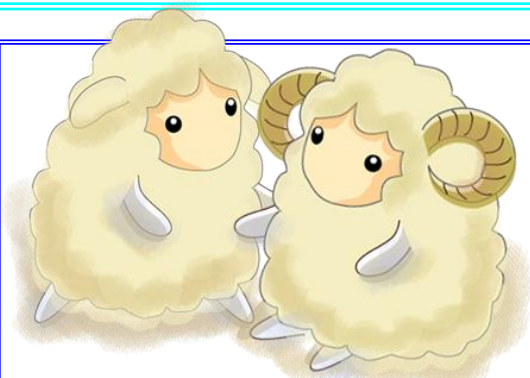


えのもとだより



院長 榎本 泰三

新年あけましておめでとうございます。
地域の皆様には健やかな新春をお迎えの事と
お慶び申し上げます。

年に4回発行しております『えのもとだより』は、早くも今年で9年目となり、当院を利用して下さる患者さまに情報提供するため、こつこつと継続しております。現在まで継続できているのも御愛読していただいております患者さま、そして当院のスタッフの努力のおかげと深く感謝しております。

昨年の4月には、消費税が5%から8%に引き上げられ、国民全体に大きな影響を与えたのではないのでしょうか。これにより当院のみならず、病院全体において、受診抑制の傾向がみられます。結果として、病気が悪化してからの受診となり、治せるはずの病気が、治せなくなってしまうはいけません。当院としては、早期発見・早期治療はもちろんですが、予防医学の観点から健康診断や、がん検診にも力を入れており、今年は、より多く行っていきたいと考えております。

昨年1年を振り返ってみますと、外観的にはなんら変わりはありませんが、見えないところでの改革を少しずつ行っています。1月には、糖尿病の院内至急検査が可能となり、来院時に結果がわかるようになりました。3月からスタッフブログも開始し、情報発信の手段として、少し役に立っているのではないのでしょうか。4月には大腸内視鏡検査において、検査中・後の腹部膨満感の軽減を目的とし、炭酸ガスを用いた送気システムの導入いたしました。さらに6月には「糖尿病教室」を開催し、好評でしたので、今後も継続していきたいと考えております。また同時に「生活習慣病予防健診」を開始いたしました。協会けんぽに加入されている、被保険者を対象にしたもので、今年はより多くの方に受けて頂きたいと思っております。9月にはPACS（医療用画像管理システム）のサーバーを入れ替えることで、より多くの情報を管理し、迅速かつ正確な診断が可能となりました。そして12月に入り、新規患者様のみですが電子カルテが稼働いたしました。現在もまだまだ課題は多いですが、待ち時間の短縮や情報管理等の利点が多く、本年2月からは完全に移行する予定です。

少しずつではありますが、榎本医院は進化を続けております。今後も患者様満足度の向上を目指し、より一層努力していく所存でございます。

年頭にあたり本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

名誉院長 榎本泰久

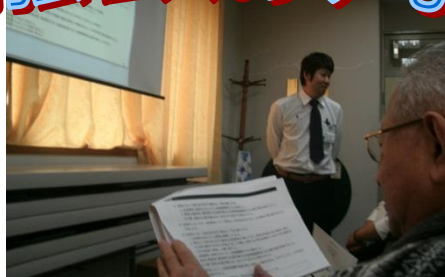
新年明けましておめでとう御座います。

昨年も日本列島はゲリラ豪雨、スーパー台風、地震や火山噴火などに見舞われ、各地で大きな被害を蒙りましたが、当地は大した被害もなく、また当院におきましても、大過なく無事診療を終えることが出来ました。これも偏に皆様がたとの厚い信頼関係によるものであると深く感謝しております。

ところで2025年には人口の5分の1が75歳以上、3分の1が65歳以上になるといわれています。皆様方が、住み慣れた地域や家庭で、これまでの暮らしが継続できるよう、訪問診療・看護・介護（ヘルパーの派遣、通所）が連携を図りつつ、より良いサービスが提供できるよう、なお一層努力する覚悟であります。

本年も昨年同様何卒宜しくご指導・ご鞭撻下さいますようお願い致します。

院内勉強会(あすなる会)



1月	【便秘症】	【胃・小腸・粘膜障害について】
2月	【骨粗鬆症】	【骨粗鬆症】
3月	【血圧管理の重要性】～心臓疾患・脳卒中のリスクを減らそう～	
4月	【循環器疾患と脂肪酸 EPA の関係について】 【新型インフルエンザ等について】	
5月	【在宅ターミナルケア・緩和ケア】	【新しい糖尿病薬の選択肢 SGLT2 阻害剤】
6月	【大腸内視鏡検査における炭酸ガス装置の有用性】	【ヒューマンエラー】 【不眠症の病態と治療について】
7月	【衛生管理委員会】	【認知症】
8月	【中性脂肪】	【脳卒中発症抑制のための薬物療法とエビデンス】
9月	【うつ病について】	【個人情報+糖尿病】
10月	【漢方】	【選択的 DPP-4 阻害剤】
11月	【睡眠について】	【衛生管理】
12月	【新しい NOAC】	